

**平成 27 年度**

**「運営に関する計画・自己評価」**

**最終評価**

**大阪市立中野小学校**

**平成 28 年 3 月**

※達成状況の数値について

- A : 目標を上回って達成した ··· 2点
  - B : 目標どおりに達成した ··· 1点
  - C : 取り組んだが目標を達成できなかつた ··· -1点
  - D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた ··· -2点
- とし、平均値を算出した。

## 大阪市立中野小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
---	--

年度目標	【視点 学力の向上】「知」	達成状況
<p>○学習理解度到達診断における正答率8割以上の児童の割合を、毎年、全学年で前年度より向上させる。 ※H25年82%、H26年82%</p> <p>○学校生活アンケートにおける「調べたり発表したりする学習は好きである」の項目について、「よくあてはまる（あてはまる）」の割合を80%以上にする。 ※H25年91.5%、H26年92%</p> <p>○平成27年度の学校生活アンケートで「授業が分かりやすい」と答える割合を80%以上にする。 ※H25年95%、H26年96%</p> <p>○中野小学校版「家庭学習の手引き」を作成。</p>	(カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連) (マネジメント改革関連)	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基礎基本の定着】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●習熟度別・少人数学習の取り組み</li> <li>●算数の授業を充実する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究を中心に研修研究を行い、授業力を向上し、毎日の授業を充実させる。</li> <li>・計算力を向上させる。</li> <li>・支援を要する児童のサポートを工夫する。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>指標</b> ○3年・4年・5年・6年担当を配置し、実態に応じ、形態や指導法を工夫した年間計画を立て実施し基礎的基本的学力の定着を図る。</p> <p>○学校生活アンケートで「授業が分かりやすい」と答える割合を80%以上にする。</p>	1.6 A
<b>取組内容②【基礎基本の定着】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●言語での表現能力の向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科・・・言語能力を身につける。（例 言葉をより多く知るための工夫・書くこと・読書・話すこと）</li> <li>・算数科・・・考え方をノートに書き、みんなの前で説明できるようにする。</li> <li>・全体・・・調べたことを自信をもって発表する。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>指標</b> ○学校生活アンケートの「調べたり発表したりする学習は好きである」と答える割合を、平成26年度よりも向上させる。</p>	1.1 B

<p><b>取組内容③【教職員の資質・能力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全教職員、年1回の研修授業を実施(学級担任は必ず算数で)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いに参観、意見交換の実施。「子どもたちがわかりやすい」授業を目指す。</li> </ul> </li>   <li>●若手教諭のサポート体制の確立             <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いが講師となりあう研修会の実施。月1回、若手集いの会を設定する。</li> </ul> </li> </ul> <p>指標 ○メンティーの会を5回実施する。</p> <p>○若手集いの会を月1回実施する。</p>	<b>1.7</b> <b>A</b>
<p><b>取組内容④【学校・家庭の連携の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭と協力し、教育活動を行う。基本的な生活習慣と家庭学習の関連の重要性を家庭に発信する。</li>   <li>●魅力ある行事作りをするために保護者アンケートを実施する。</li> </ul> <p>指標 ○「家庭学習の手引き」の作成。</p> <p>○運動会、作品展等大きな行事の後に保護者アンケートを実施する。 全員に記入してもらうために、家庭配布とする。</p>	<b>1.6</b> <b>A</b>
<b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b>	
<p>①○計画をたて、単元・児童の実態に応じて習熟度別・少人数学習に取り組んだ。少人数、習熟度別学習により丁寧な指導をすることによって、理解に時間がかかる児童の理解を進めることができた。</p> <p>○算数科の授業研究を計画的に行い、指導法について、学年を中心に繰り返し検討しよりわかりやすい授業を目指すことができた。</p> <p>②○算数科 多くの児童が1時間の学習の流れがよくわかるノートの書き方ができてきた。自分の考えを書いたり、発表したりすることもできてきた。</p> <p>○国語科 国語の授業だけでなく、日記指導、毎日の1分間スピーチなどの中で、語彙を増やす指導を繰り返し行ってきた。</p> <p>③○全教職員が算数科中心に研修授業を行い、意見交流しながら互いに学び合い、日々わかりやすい授業を目指して取り組むことができた。</p> <p>○定期的にメンティーの会・集いの会を実施することで、意見交流ができ、若手教諭のサポートに役立っている。</p> <p>④○家庭学習チェックシート（中野マスター）を活用し、家庭との連携を図り、個人の課題について改善できるように指導してきた。</p> <p>○家庭学習チェックシートの結果や分析を定期的に学校だよりやホームページで発信していることで、意識して取組んでいただける家庭が増えた。</p> <p>○行事の後のアンケートでは、前向きな意見や児童の励みになる内容が多く、次年度への改善につなげることができ、有効であった。</p>	

### 次年度への改善点

- ①○実態に応じて習熟度別の形態を見直し、実施していく。
  - 計算力の向上を中心に支援を要する児童への支援の仕方を工夫していく。
- ②○算数科 発表ボードに分かりやすく書く指導、考えを発表して意見交換する機会を多くし、聞く人に伝えられる指導をしていく。
- 国語科 1時間の授業の中でどんな言語事項を身につけさせるのかを指導者が持ち、指導できるようにする。
- ③○若手とベテランをどうつないでいくか。
  - 若手だけでなく、全員で取り組めるような研修会を取り入れるとより充実したものになるのではないか。
- ④○協力がなかなか得られない家庭との連携の方法を考えていく必要がある。

## 大阪市立中野小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
年度目標	【視点 道徳心・社会性の育成】「徳」	達成状況
○平成28年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。 *H25年94.6%、H26年93.2%	(カリキュラム改革関連)	
○全国学力・学習状況調査において、「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえれば、当てはまる）」の割合を全国平均以上にする。 *H25年80.3%、H26年86.5%（全国平均76.1%）(カリキュラム改革関連)	B	
○平成27年度の学校生活（保護者）アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を85%以上にする。 *H25年96.5%、H26年96%	(ガバナンス改革関連)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進（規範意識の育成）】 ●月ごとに生活指導の目標を掲げ、全教職員で指導に取り組み、子どもの意識を高めることができるようする。		1. 1
指標 ○生活アンケートでの上記内容に該当する項目で9割以上にする。		B
○教職員の学校評価で前年を上回る。		
取組内容②【特別活動（共に支え励まし合える集団づくり）】 ●異学年交流を通して、自分や友達を大切にする教育を進め、自尊感情を育てる。		1. 2
指標 ○異学年交流後の感想を元にし、生活アンケートでの上記内容に該当する項目で前年を上回る。		B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
①○毎週月曜日の児童朝会で伝えたり、学校内にいくつも掲示していたりと、子ども達は月の目標を意識することができた。		
②○年間を通してのたてわり班活動で、異学年交流を活発に行うことができた。 ○様々な活動の中で、高学年が低学年に優しく接している姿が多くみられ、高学年としての責任感を感じ、自尊感情も育むことができた。		
次年度への改善点		
①○意識することはできているが、身についているかどうかは個人差がある。次年度に向けて、絶えず、振り返りが必要である。また、教員自身も意識をし、学年・学級での指導の必要がある。		
②○次年度に向けて、更に異学年の交流や集会活動でのペア学年での取り組みを増やしたい。		

## 大阪市立中野小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	【視点 健康・体力の保持増進】「体」	達成状況
○平成28年度における校内体力調査において、特に課題のあるシャトルランの記録を、平成25年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査より向上させる。 ＊H25年83%、H26年86%（「運動場に出て元気に遊んでいる」の項目） ＊シャトルランに関してはH25年42回、H26年42回（カリキュラム改革関連） ○平成27年度末の学校生活アンケートにおける「うがいや手洗いをしている」の項目について、「よくあてはまる（あてはまる）」の割合を90%以上にする。 ＊H25年85.6%、H26年85%（カリキュラム改革関連）		A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体力向上への支援】 ●体力向上に向けての体育科の授業の工夫・改善 ・全学年「なかの Running Festival」を実施。また、ペア学年での「Jumping Weeks」も実施。 ・登校後の朝の時間や、休憩時間に一日一回は運動場に出て遊ぶことを学級指導だけでなく、児童朝会や放送委員会と連携して呼びかけを実施する。	1.8 A
指標 ○シャトルランを一学期と三学期に行い、男女ともに一学期の平均を三学期の平均が上回る。	
取組内容②【健康な生活習慣の確立】 ●「うがい・手洗い」「ハンカチ・ティッシュの携帯」を重点指導。 ・指導強化月間を3回実施。 ・指導強化月間に合わせて、学年だよりに記載し、家庭へ啓発する。 ・放送委員会、給食委員会と連携し、児童朝会、児童集会での啓発を実施。	1.5 B
指標 ○生活アンケートでの上記内容に該当する項目と、児童のがんばりカードの集計結果で前年を上回る。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①○Jumping Weeks はペア学年で練習したり、音楽に合わせて跳んだりすることで、休み時間に進んで縄跳びをする児童が増えた。 ○一日一回運動場で遊ぶことを学級指導することで、外で遊ぶ児童が増えた。
②○強化月間の実施や学級指導、健康委員会の委員会での啓発のより、児童の意識が高まった。特に、給食前の「うがい・手洗い」への意識は高くなった。
次年度への改善点
①○朝の時間に遊ぶ児童が少ないことが、次年度への課題である。

②○外で遊んだあと 「うがい・手洗い」への意識づけが、次年度への課題である。

○強化月間以外での「ハンカチ・ティッシュの携帯」への意識が低い。学校だよりや学年だより、ホームページなどを使って、家庭への啓発を引き続きしていく必要がある。

## 大阪市立中野小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標 【視点 学校・家庭・地域の連携】	達成状況
<p>○学校公開、土曜授業の実施。計6回。 内容の見直し（町会との連携、独居老人の学校招待等）</p> <p>○中野小学校版「家庭学習の手引き」を作成。（→「視点 学力の向上」と関連）</p> <p>○平成26年度の取り組みを継続しつつ、更に工夫を加えレベルアップする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのPV数を昨年度よりアップさせる。</li> <li>・地域老人会と連携し、昔遊び・戦争の話等の授業を実施していただく。</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【学校・保護者・地域の連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●年間6回の土曜授業（学校公開）を実施する。</li> <li>●地域の方をゲストティーチャーに招き「出前授業」を充実させる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・七輪体験、車いす体験、昔遊びなど。</li> </ul> </li> <li>●PTA・地域・子ども会行事等に積極的に参加する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい運動会、サマーカーニバルなど。</li> </ul> </li> <li>●地域の方を積極的に学校行事（なかのまつり、作品展など）に招待する。</li> </ul>	1.5 A

指標 ○指標 生活アンケートで上記内容に該当する項目（①②⑧）について、「よくあてはまる」の割合が平成26年度を上回るようにする。	1.6 A
取組内容②【情報公開への取り組み】	

指標 ○ホームページの閲覧数、年間18000ページビューを達成する。	年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>①○年間6回の土曜授業を計画的に充実した内容で実施することができた。</p> <p>○地域の方をゲストティーチャーに招いた出前授業が充実し、地域の方とのよい交流を図ることができ、よいつながりができた。</p> <p>○各学年の出前授業が確立していた。</p> <p>○教職員として、地域行事にたくさん参加できた。</p> <p>②○学校の日々の様子が写真・文章で毎日のように発信され、充実したホームページとなっている。 保護者や地域の方に向けて情報公開を積極的に行ってきました。</p> <p>○すでに18000ビューを達成しており、多くの方に日々閲覧していただいている。</p>	

### 次年度への改善点

- ①○出前授業の反省や改善点をまとめ来年度に引き継ぐ必要がある。  
○来年度入学予定の児童がなかのまつりに参加しており、地域の方に学校行事に参加していただいた。ただ、どれくらいの人数の方にお越しいただいたかは把握できていない。
- ②○発信する人は限られており、投稿へのハードルはいまだ高い。